

本州等におけるトキの野生復帰に向けた考え方及び確認事項について 確認シート

「本州等におけるトキの野生復帰に向けた考え方及び確認事項について」記載事項	各項目の確認（満たしていれば☑）	補足事項	環境省による評価
3. 野生復帰による影響の予測			
3－1. 予測される影響			
（1）ポジティブな影響（期待される効果等）			
（2）ネガティブな影響（懸念点等）			
3－3. 必要性の判断			
5. 本州等での放鳥に向けた確認事項			
5－1. 放鳥候補地における確認事項			
（1）放鳥候補地における自然環境に関する確認事項 ○文献情報等から、過去にトキが生息していたと推定される範囲内であること ・放鳥候補地が所在する都道府県に過去にトキが生息していた記録がある。 ○トキの生息に適した環境（エサ場、ねぐら、営巢林等）が十分な面積で確保され、個体群形成に必要な環境収容力があること トキの餌場環境について ・現地調査によりトキの餌となりうる生物の生息状況が把握できている。 ・放鳥候補地域周辺の餌生物の生息状況が、放鳥開始時の佐渡島のトキ生息地と比較して同程度である。 トキのねぐら、営巢環境について ・ねぐらや営巢に適した森林等の環境が、佐渡島のトキ生息地と比較して同程度の面積確認できている。 ・餌場となりうる場所から適切な距離に、営巢に適した森林等が一定面積以上存在している。 ○トキの生息に適した環境が長期的かつ十分な面積で維持される見込みがあること ・地域でトキの生息に適した環境創出の取組（江や魚道の設置、土水路等の維持・管理、環境保全型農業等）が行われている。 ・地域でトキの生息に適した環境創出に取り組む複数の団体・個人が存在している。 ・現状で放鳥候補地域における、生息環境を大きく変化させるような開発等の計画はない。	（例）☑		
（2）放鳥候補地における社会的な確認事項 ○トキと共生する社会環境が整っていること（地域住民や関係者との合意形成、社会的な理解等） ・地域で今後の方針や計画等を示したロードマップ等が作成されている。 ・トキの野生復帰の取組に関して地域の理解が得られるよう、説明会・シンポジウムの開催や広報物の作成、配布等の普及啓発が積極的に実施され、かつ、地域のトキ野生復帰に対する意識が醸成されている。 ○トキの生息・分布情報を収集する体制が構築されていること ・放鳥したトキの生息情報を継続的に収集できる必要な体制がある。 ・トキに関する情報共有やモニタリングに係る協力体制を、近隣自治体や地域の環境保全団体等と築いている。			
5－2. 放鳥に係る体制に関する確認事項 （1）放鳥の実施に係る体制（事前調整、技術者の配置、当日の現地対応等） ・放鳥の実施に向け、関係機関、関係者との調整が進んでいる。 ・放鳥当日はトキの扱いに慣れた職員がトキの管理や放鳥に係る作業に従事することができる。 ・放鳥当日のトキの緊急時の対応が整備されている。 ・放鳥の具体的なスケジュールが決まっており、放鳥の実施に向けて作業が進んでいる。			
（2）放鳥後のモニタリング体制（生息環境、繁殖経過観察等） ・放鳥したトキのモニタリング計画が作成されている。			
（3）トキの傷病・死亡等の緊急時の対応体制 ・傷病・死亡個体が確認された際の対応方法（連絡体制、必要な手続、治療方針等）が予め整備され、それが関係機関、関係者で共有できている。			
環境省による総合的判断			